

あした彩の活動報告

岡山北西ロータリークラブ創立 30 周年記念事業

「犯罪被害者支援オンライン交流会」

2022 年 2 月 20 日 10:00~13:00

■あした彩

○岡山商科大学 犯罪被害者支援部「つぼみ」(商大ブログ より転載)

コロナ禍であした彩の活動が停滞しているなか、岡山北西ロータリークラブ様がお声をかけてくださり開催したものです。

本交流会では、①あした彩の活動を後輩たちに繋いでいく②県外学生団体とともに「支援の輪」を広げていくことを目標に、企画しました。

今回の交流会では、普段の活動ではなかなか会うことのできない他県の大学生とも交流し、岡山県の大学の活動を紹介することができました。京都亀岡での事故をもとに作られた紙芝居「まおちゃんの新しくつ」の視聴、あした彩創世期の OB である神崎心さんにあした彩ができた経緯や当時の想いについてお聞きするインタビューがありました。また秋田、熊本、埼玉の大学生ボランティア活動の紹介もありました。そして交流会の最後に、あした彩の活動を応援して下さる被害者ご家族様からビデオメッセージとお手紙をお寄せいただきました。



交流会を通して部員達が改めて考えたこと、新たな発見、話を聞いて感じたこと、様々な意見がありましたので、一部ご紹介します。

○普段私達が日常で考える機会の少ない「命の大切さ」を学べたと思う。

○他県の犯罪被害者支援学生ボランティアとの交流によって他県での活動の様子を知ることができ、新たな発見もあり、刺激になった。

○「まおちゃんのお姉ちゃんは事件後登校の際によく後ろを確認するようになった」という文は私の中で強く印象に残った。

○自分たちの判断で失う命も助かる命もあるので「自分自身のモラルのなさが原因で人の命を奪ってはならない」と一人一人が意識するような社会ができれば良いなと感じました。

○被害者ご家族の方の話の中で「事故」と「犯罪」ちょっとした言葉の違いで世間の捉え方が違ってくるのと知り、普段は何気なく使っている言葉でも被害者ご家族の方にとっては納得できないものになってしまうと改めて考えるものとなった。

○今後、被害者支援活動を自分がやっていく上で、被害者やそのご家族の方へ直接働きかけ寄り添うような支援と、そもそもこういう犯罪が起こらないようにするための活動と、被害者支援の輪を広げる活動をと、頑張りたいと思う。

○環太平洋大学 爽志会（Facebook より転載）

【経営学部現代経営学科 2 年 矢吹行生】

先日、爽志会が所属しているあした彩がオンラインイベントを開催し、爽志会から約9名の学生が参加してきました。イベントには岡山県警の皆さま、岡山北西ロータリークラブの皆さまをはじめ、あした彩に所属している岡山県内の大学と専門学校の学生が参加し、さらに埼玉、秋田、熊本の犯罪被害者支援を行っている学生団体の方々も参加してくれました。

また、交通犯罪で娘さんを亡くされた小谷様も参加してくださり、貴重なお話やご意見をいただきました。

交流会では、学生団体の発足のきっかけをそれぞれ共有したり、紙芝居「まおちゃんの新しい靴」を鑑賞し、小谷さんのご意見をいただいたりしました。

また爽志会のOBであり、あした彩の創設メンバーの一人である、神崎さんにもお話をさせていただき学生時代に支援をしていく中で苦労したことや感情の変化などとても勉強になるお話を聴くことができました。その他にも、以前あした彩が支援を行った方々からもメッセージや動画をいただき、さらにあした彩メンバーの支援に対する意識を上げることができたと思います。

今回の交流イベントで、私たち爽志会が存在する意義、またあした彩が何のために存在するのかを再認識することができました。これからは犯罪被害者の方々への支えに少しでもなれるように様々な活動を行っていきたいと思います。

最後になりましたが、今回の「犯罪被害者支援オンライン交流会」に参加していただいた方々、またイベントの企画から実行まで行ってくれたあした彩のメンバーに感謝します。

ありがとうございました。

【次世代教育学部教育経営学科 3 年 堀田紗也佳】

あした彩オンラインイベントを通して、準備期間ではコロナウイルス感染拡大の影響で対面から完全オンラインに変更になったり、イベントの内容にも大きな変更がありました。今まではあした彩が行ってきた活動を振り返ることができ、これから自分たちがあした彩でどんな活動をしたかを考えていき、先輩方のように後輩へ繋いでいきたいと思いました。

この会を開催するにあたり、ご協力いただいた多くの方々へ感謝申し上げます。

この会をきっかけに被害者支援の輪が広がることを期待します。



○会員各位

昨年の秋に一度は落ち着きを見せていた新型コロナもオミクロン株による急激な感染拡大を受けて環太平洋大学での開催を取りやめ、文字通り「オンライン交流会」となりました。完全オンラインへの急な変更にも関わらず、学生たちの頑張り思い描いた通りの実りある交流会になりました。あした彩としてこうした大学間連携の取り組みができたこと、被害者ご家族からあした彩の学生に応援メッセージをいただいたことで、先輩たちから受け継いだ想いを後輩へと繋ぐことができた嬉しく思います。当日参加した会員からもコロナ禍で活動ができなかった2年間の空白を取り戻し、With コロナ時代の新たな取り組みをという学生の思いが伝わった素晴らしい交流会だった、我々も引き続きしっかりと応援をしていかないといけないとの思いを強くした！との声が届いております。改めて会員皆さまのご理解、ご協力により開催できましたこと心より感謝申し上げます。

オンライン交流会実行委員長 西岡 貞則 / 青少年奉仕委員長 鴨井 利典 / 社会奉仕委員長 原 全 伸